



阿波高新聞

10月号
179号

編集
新聞・文芸部



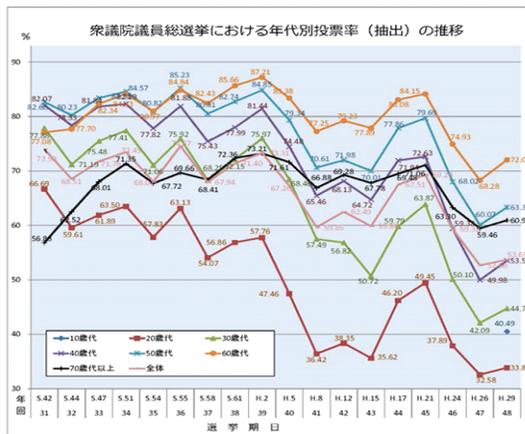
新聞・文芸部員大募集!

私たちと一緒に阿波高新聞やオリジナル部誌を作ってみませんか。文章やイラストを書くのが好きな人、ぜひ新聞・文芸部に入部してください。待っています!
また、阿波高新聞で取り上げてほしい記事等がありましたら、顧問の佐藤先生までお知らせください。

今月号は、「政治」についてです。新しく内閣総理大臣に就任された岸田首相と若者の投票率について調べてみました。

○若者の投票率について考えてみよう!

皆さんは、選挙に興味がありますか? 私たちは十八歳から選挙権を獲得し、投票することができます。ですが、今、若者の投票率が低いことが問題となっています。



これは総務省が公開している「衆議院総選挙における年代別投票率」です。全体的に投票率が低下している中で、一番投票率が低いのが二十代です。十代は上から二つ目の折れ線グラフで、比較的投票率が高い方といえます。ですが、二十代になったとたん急激に減少していることがわかります。これは、何が原因なのでしょう?

○内閣総理大臣岸田文雄氏とはどのような人物なのか?
十月四日に新たに発足した、岸田内閣。内閣総理大臣の岸田文雄(きしだふみお)さんは、どのような人物なのかを紹介したいと思います!

★プロフィール
名前 .. 岸田 文雄(きしだ ふみお)
生年月日 .. 1957年1月28日(現在64歳)
出生地 .. 日本 東京都渋谷区
出身校 .. 早稲田大学大学院法学研究科・法学部
前職 .. 日本長期信用銀行行員
現職 .. 衆議院議員
所属政党 .. 自由民主党(岸田派)
自由民主党総裁
称号 .. 法学士(早稲田大学・1982年)
内閣総理大臣

内閣総理大臣の他に、第143・144代外務大臣、第10代防衛大臣や内閣府特命担当大臣を務めていました。

★人物像は...

① とてもお酒に強く、『政界随一の酒豪』とも言われる。各国外相の中でも特に酒に強いロシアのラブロフ外相が2006年一月に来日した際には、夕食会で三時間にわたって酒量を競い合った。また、自民党青年局における台湾との交流では、当時の局長たちが揃って酒を飲まないため、酒に強い台湾の政治家たちの歓迎を一手に引き受け、次々と杯を空にしたと言われている。これらは『酒豪伝説』として知られている。

② 何事もそつなくこなし、広範囲に渡る知識や経験を持つ人だと評されている。

③ 学生時代のクラブは、中学時代はソフトテニス部、高校時代は野球部。守備はショートまたはセカンド、打順は一番または二番で、時々六番だった。

④ 親族のほとんどが東京大学を卒業している中で東大受験に三度失敗し、東大を卒業した従弟と比べて自分の資質を疑問に思ったこともあったという。

⑤ 早稲田大学出身ではあるが、政治家を多く輩出している早稲田大学雄弁会には参加していない。

⑥ 『デイリー新潮』という雑誌に、『超つまらない男』という記事を書かれたことがある。

⑦ 東京都出身だが、広島出身の父親の影響もあり幼少期から広島東洋カープの大ファン。『日本で一番偉いカープファン』ともいわれる。市民球団としてこよなく愛されてきたカープの生き様を、自らの政治信条になぞらえている。選手では衣笠祥雄(きぬがささちお)選手のファン。

⑧ 2005年、第28回日本メガネベストドレッサー賞・政界部門を受賞。

⑨ カラオケで得意な歌としてサザンオールスターズ『涙のキッス』を挙げている。

政治家というと堅苦しいイメージがありますが、こうして調べてみると実際は私たちと何ら変わらない人生を送っていますね。

若者の投票率の低下の原因として以下のことが挙げられます。
・政治を身近に感じられないから。
・選挙結果で生活が変わらないと考えているから。
・政治や社会情勢に関する知識が不十分だから。
などです。ですが現在では、若者も政治に興味を湧くようにと人気アプリ「TikTok」等で分かりやすく解説してくれる動画があります。また、「電子投票」と呼ばれるインターネット投票も普及してきています。この電子投票が今よりもっと認知度が上がれば、忙しくて投票に行くことができない人も簡単に投票することが可能となります。さらに、現在著名人が選挙を呼びかける動画も話題となっています。この動画は、広告でも政府の放送でもありません。投票率が最も低いと言われる世代の著名人が若者に呼びかけている動画です。全く政治のことがわからない人もまずは、このような動画から見始めるのもいいかもしれません。「VOICE PROJECT 投票はあなたの声」でぜひ検索してください。

① とてもお酒に強く、『政界随一の酒豪』とも言われる。各国外相の中でも特に酒に強いロシアのラブロフ外相が2006年一月に来日した際には、夕食会で三時間にわたって酒量を競い合った。また、自民党青年局における台湾との交流では、当時の局長たちが揃って酒を飲まないため、酒に強い台湾の政治家たちの歓迎を一手に引き受け、次々と杯を空にしたと言われている。これらは『酒豪伝説』として知られている。

○今月の言葉
諦めて降りる前に、
まだゼロじゃない未来に
賭けてみよう。
『ポーカーフェイス』
vocal 浦島坂田船
作詞作曲:奏音 69(ロック)

